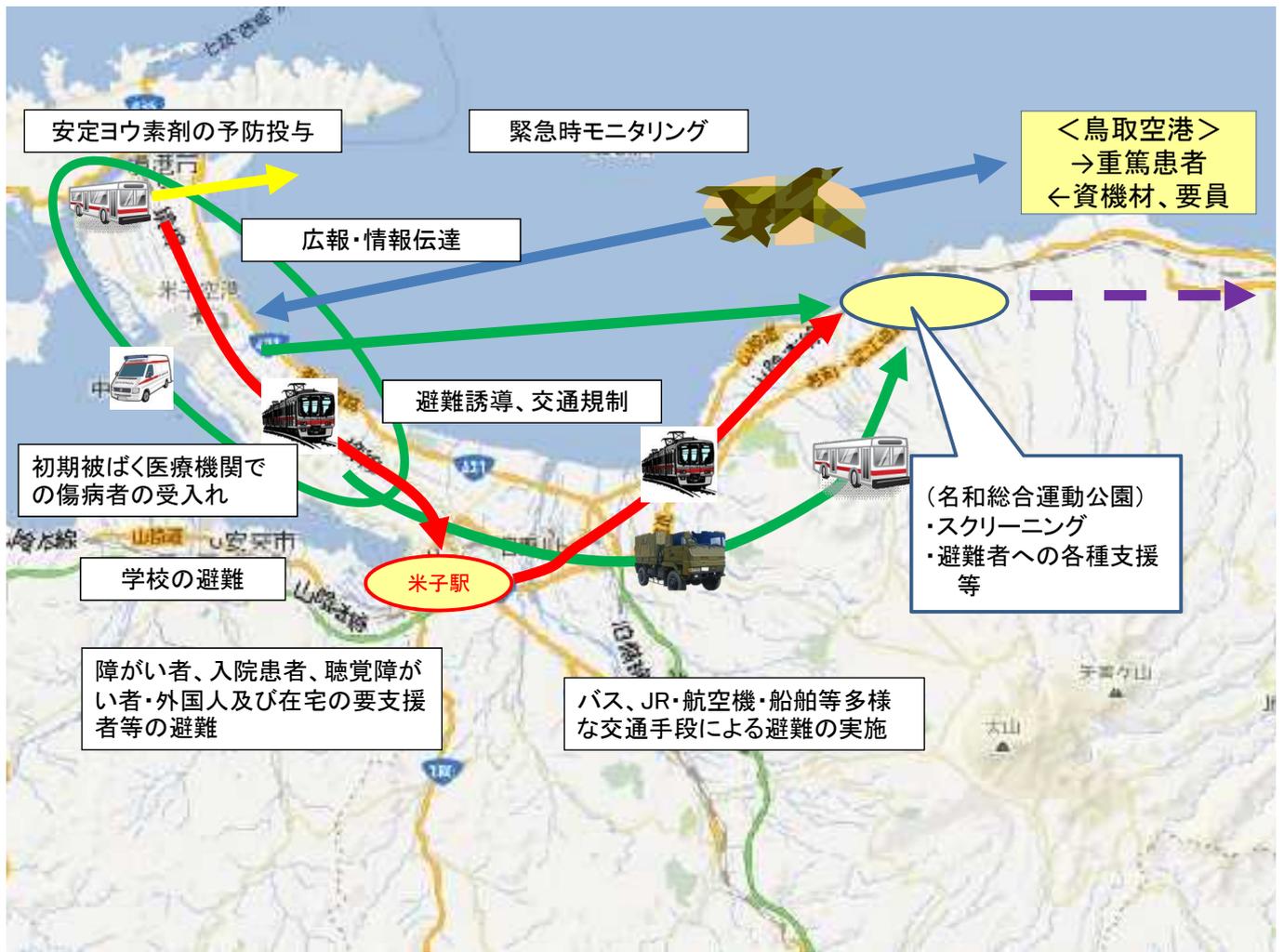


平成26年度 鳥取県原子力防災訓練 (島根原子力発電所対応) 結果概要

1、訓練の概要

- 1 日程
平成26年10月18日(土) 2県6市の主催により実施(共同訓練、機能別訓練)
- 2 場所
鳥取県庁、西部総合事務所、米子市役所、境港市役所、米子・境港市一時集結所、大山町名和総合運動公園等
- 3 今年度の訓練で検証すべき主な課題
避難時間の短縮に伴う、避難の引き続きの実効性の確保
→避難計画の深化と体制の整備
 - ・より実態に即したスクリーニング等の実施(避難住民への総合支援)
 - ・障がい者施設入所者等の避難
 - ・多様な避難手段の検証(JR・航空機・船舶等)
 - ・わかりやすい住民等への広報
 - ・避難者の緊急輸送
- 4 本年度訓練の特徴 → 実践的訓練の追及
昨年度の課題を含めて段階的に検証する。
 - ・避難計画に定めている会場でのスクリーニングの実施(計画上の最大限での実施)
 - ・住民への避難支援(支援ポイントをスクリーニング会場に併設して設置…情報、救護等)
 - ・島根県の住民避難の支援(県外へ避難する途中でのスクリーニングの協力)
- 5 訓練参加機関等
 - (1)参加機関
34機関(鳥取県側)
 - (2)住民参加者数
約350名(※訓練参加者数は約900名)



2、各訓練の内容(1)

区分	内容	訓練状況
本部等運営訓練 (初動対応訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部会議の運営 ・2県6市の首長によるTV会議の実施 ・現地災害対策本部長の派遣 ・リエゾンの派遣 	
オフサイトセンター訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策要員研修及び本部図上演習 ・原子力災害合同対策協議会運営訓練 ・要員派遣訓練 ・情報伝達訓練 	
住民避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な避難手段による住民避難 ・住民への広報・情報伝達 ・住民避難に引き続き、スクリーニング会場における受付、スクリーニング検査・除染・健康相談・原子力防災研修等を実施 	
避難行動要支援者避難訓練 (障がい者、入院患者、聴覚障がい者・外国人)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者グループホーム(知的障がい者)における避難の実施 ・UPZ圏内の入院者を50キロメートル以遠の医療機関に避難 ・手話通訳者等による避難誘導を伴った聴覚障がい者の避難及び外国人の避難 	

2、各訓練の内容(2)

区分	内容	訓練状況
緊急被ばく医療活動訓練(初期被ばく医療、スクリーニング、安定ヨウ素剤)	<ul style="list-style-type: none"> ・初期被ばく医療機関における傷病者の受入訓練等 ・避難住民へのスクリーニング及び簡易除染手順の確認等 ・安定ヨウ素剤服用に係る住民説明等 	
緊急時モニタリング訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング本部の設置及び情報伝送訓練 ・モニタリングポスト(固定、可搬)、ヨウ素モニターの稼働による連続監視 ・モニタリング車等による測定 ・移動サーベイ、ヨウ素のサンプリング・測定 ・モニタリング情報業務 	
県営広域避難所開設訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・「県営広域避難所運営マニュアル」の検証 ・広域避難所(居住スペース)の設営訓練 ・計画動員数による開設所要時間の確認 	
広報・情報伝達訓練【道路情報表示訓練を含む。】	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への情報伝達 ・報道機関との連絡調整 ・要配慮者、一時滞在者への広報・情報伝達 ・道路情報表示板への情報表示 	

2、各訓練の内容(3)

区分	内容	訓練状況
学校等の避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校等と関係機関との通信連絡訓練 ・通信連絡訓練を受け、屋内退避、保護者への連絡等の手順確認 	
避難誘導、交通規制等措置訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・災害警備本部等設置運営訓練 ・住民避難誘導等訓練 ・広報・情報伝達訓練 ・交通検問所設置等訓練 ・渋滞解消のための誘導等 	
避難支援ポイント設置・運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難支援ポイント設置・運営訓練 ・避難支援ポイント内の関係機関との連携確認 ・県災害対策本部、県現地災害対策本部との連携確認 ・住民の方への情報提供 	 

2、各訓練の内容(4)

区分	内容	訓練状況
車両除染等訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・名和総合運動公園における車両(乗用車、マイクロバス)のスクリーニング及び除染デモの実施 ・自衛隊による車両スクリーニング及び除染デモの実施 	
原子力防災研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線についての基礎説明やサーベイメータなどを使った身近な放射線量についての原子力防災研修 ・災害時に活動する通信車両・衛星電話等の展示や福島事故をはじめとする災害時の活動等を紹介したパネルを展示 	

3、訓練の評価結果

1 評価者評価

鳥取県原子力安全顧問、他県職員に訓練評価を依頼。

⇒第三者評価により、PDCAを回すことが目的

(1) 訓練評価の分担

本部等運営訓練: 青山顧問、遠藤顧問

住民避難訓練: 青山顧問、内田顧問、関西広域連合、徳島県

避難行動要支援者避難訓練: 内田顧問

緊急被ばく医療活動訓練: 青山顧問、遠藤顧問、内田顧問、関西広域連合、徳島県

緊急時モニタリング訓練: 岡山県

(2) 評価結果

訓練評価記録シートに評価結果を記載していただいております、各評価項目ともおおむね的確との評価を受けている。

2 アンケート集計結果

(1) 回答数

287名

(2) 回答結果

- ・約5割が避難の方法、避難指示の情報を知る方法、避難後の生活について不安を感じている。
- ・約6割が自家用車避難を選択。
- ・約6割が段階的避難区分を知らないと回答

4、成果のあった事項

- 避難住民に対する支援(避難支援ポイント)の実施
- JR(御来屋駅まで)・船舶(海上自衛隊多用途支援艦ひうちは実際に出航)・航空機(UH-1、CH-47、C-1)等の多様な避難手段の更なる検証
- 大型ヘリ(CH-47)の有効性と運用方法を確認
- スクリーニング会場(大山町名和農業者トレーニングセンター)での実施体制を確認(12レーン→昨年度より迅速化)
- 住民に対する一時集結所での安定ヨウ素剤の服用説明・模擬服用の実施
- 緊急時モニタリング計画に基づく監視・測定・報告の実施
- 車両スクリーニング・車両除染を試行的に実施

5、改善事項及び今後の対応

- 住民へのわかりやすい情報伝達
→わかりやすい情報の伝達方法の検討及び住民に提供する情報の整理(避難先(避難所)情報、ガソリンスタンド等の情報)
- 多様な避難手段の更なる検証
→JR避難、船舶避難、航空機避難について、想定されるあらゆる事案に対応できるよう更に検証を実施
- スクリーニングポイントの配置等
→スクリーニング終了者と未終了者の動線分離等の配置の見直し
- 避難時の除染(人体、車両)で発生した汚染水、汚染付着物等の処理
→汚染水処理の実施方法等について国の検討状況を鑑み検討
- 多数の避難車両の検査実施方法
→実施体制の確保及び資機材等の整備

※避難計画の更なる周知徹底